

ディボーション質問表



イザヤ書は、1～39章と40～66章との二つに分けられます。今週の箇所は、「神の救いについての預言」(40～55章)の部分です。

16日(月) イザヤ書 43:1～13節 イスラエルを贖う神1

1. 今日の箇所はどのような方が誰に対して語っておられるところでしょうか? この箇所の内容をイスラエルの歴史に当てはめて考えてみましょう(1～7節)。
2. クロス王の子カンピセスの統治下、エジプト、クシュ(エチオピア)、セバ(今のアラビア半島西南部)はペルシャの支配下に置かれます。このことがイスラエルの帰還を安全なものとなりました。主がこの世の政治を通して働かれることも覚え、国のためにとりなしましょう。

17日(火) イザヤ書 43:14～28節 イスラエルを贖う神2

1. この箇所では主はご自分のことをどのように自己紹介しているのでしょうか? そのような主がイスラエルの民に対してどのような約束を与えてくださっているのでしょうか(14～21節)?
2. この箇所ではイスラエルの民はどのような者だと言われているのでしょうか? そのような民に対して、主はどうして回復の業を成してくださると約束されているのでしょうか(22～28節)?

18日(水) イザヤ書 44:1～20節 真の神と偶像の神々1

1. この箇所では主はご自分のことをどのように自己紹介しておられますか? 2節のエシュルンとは「まっすぐなもの」という意味です。イスラエルの現状はどうあれ、この呼び名から彼らへの神の愛情がうかがえます。私たちの現状を越えた主の評価を今一度思い起こしましょう(1～8節)。
2. 主に対して、人の作った偶像の愚かしさが描写されています。何故彼らは人の作った物に頼ろうとするのだと思いますか? 偶像の愚かさをもう一度認識し、生ける神の力を宣言しましょう(9～20節)。

19日(木) イザヤ書 44:21～28節 真の神と偶像の神々2

1. 「わたしのもとに帰っておいで」(22節)と招いておられる主は、どのような方で何をしてくださっているのでしょうか(21～23節)?
2. この箇所では主はどのような方であることが分かりますか? 私たちの信じている方はこのような方です。その事を感謝しましょう(24～28節)。

20日(金) イザヤ書 45:1～13節 歴史を支配する唯一の神1

1. 「油注がれた」のヘブル語はメシヤ(救い主)の語源となっている言葉です。イザヤ書でここ一箇所に出てくる語で異国の王に使われるのも聖書でここ一箇所だけです。この箇所はペルシャ王クロスの登場より150年以上前に預言されています。主は彼に対してどのように語られているのでしょうか(1～7節)?
2. 主と人間の関係はどのような関係だと言われているのでしょうか? 彼らは主に対してどのようなことを言っているのでしょうか? それは何故だと思えますか(8～13節)?

21日(土) イザヤ書 45:14～25節 歴史を支配する唯一の神2

1. 45章には「わたしが主である。ほかにはいない。」(5、6、18、22節)という表現が繰り返されています。それぞれの言葉がどのような文脈の中で言われているか観察してみましょう。
2. 諸国民に対して、主は何を呼びかけておられるのでしょうか? (20～25節)

***今週の箇所から3日以内に始められ、具体的、実現可能で計測することができる計画を聞いてみましょう。**